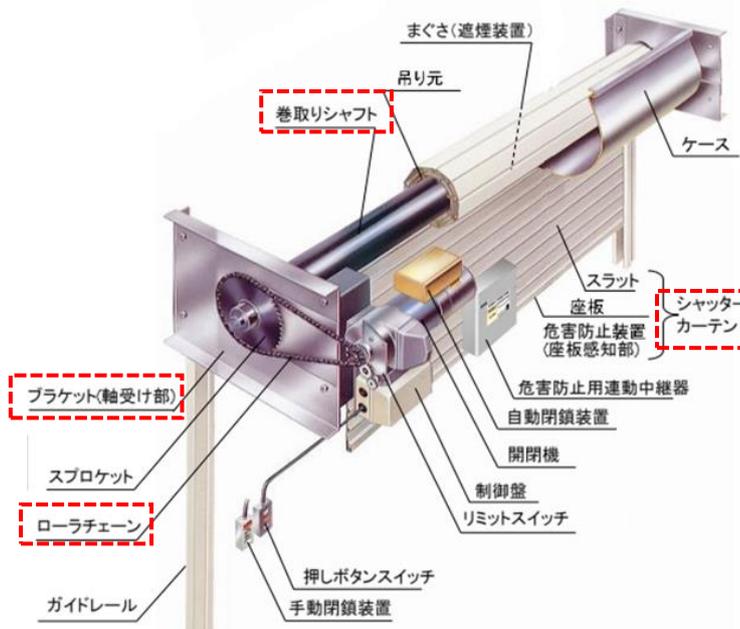


シャッター事例4 ブラケットがくり抜かれた

シャッター構造図



巻取りシャフト部【左側】



巻取りシャフト部【右側】



事故発生の状況

シャッターを開けようと壁スイッチの「開」を押したが上がらなかった。

原因と説明

スラットが開閉機側に片寄りしブラケットをくり抜いてローラチェーンが外れていた。

設置後21年経過していることから経年により片寄が生じたものと推測される。

製品名: 重量シャッター(一般仕様)

設置年数: 21年 (設計耐用期間: 15年又は10,000開閉)

※設計耐用期間は定期的な点検、保守が実施された場合の数値です。

定期点検: なし

事故を起さないためには(予防措置)

- ・シャッターを安全にお使いいただくためには、異常の早期発見・処置による事故防止と機能の維持管理のため、シャッターメーカーと定期点検契約を結んでいただくことをお勧めします。
- ・ご使用中のシャッターに安全装置(急降下防止装置)が装備されていない場合があります。安全確保のため、シャッターメーカーにお問い合わせの上、安全装置付きシャッターへのお取替えをお勧めします。